

# ふれあい

令和3年2月 第416号  
大代地区コミュニティ推進協議会  
(広報部)

事務局：大代地区公民館  
TEL:022-364-8442  
FAX:022-364-8453

## 掲載目次

- お菓子の寄付をいただきました・・・・・・・・1
- 大代地区公民館からのお知らせ・・・・・・・・2
- 東日本大震災から10年・・・・・・・・1

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、各種事業等が中止されていることから、『ふれあい』におきましても事業告知等を削減して、今月号も規模を縮小いたします。

## お菓子の寄付をいただきました

多賀城市に在住の方から、大代地区公民館の事業でお使いくださいとお菓子のポッキー20パックをいただきました。大代地区公民館では、交通安全教室、まなびのひろば、防災キャンプなど、子ども向けの事業が数多くありますので、これらの事業で頂いたお菓子を活用させていただきますと思います。ありがとうございます。



## 東日本大震災から10年

東日本大震災から10年が経過しようとしています。震災は大代地区にも多大な被害をもたらしました。

今月は、震災当時から大代地区公民館に勤務している及川事務局員からのお話を基に、震災を振り返ります。

震災当日の3月11日は金曜日。翌日12日、13日は「大代地区公民館まつり」が開催予定でしたので、作品展示に参加する皆さんの展示準備と、舞台発表をする皆さんの会場準備で賑わっていました。

1階の体育室と2階の会議室を忙しく行き来していた時に、まず揺れを感じました。その後すぐに緊急地震速報が鳴り、非常に強い地震が来るのだと感じました。次第に揺れが強くなり、まず、体育室の照明の落下や、作品展示用のパネルが倒れることを危惧し、それらから離れるよう声がけしたのを覚えています。宮城県沖地震を体験していない私は、30年周期の強い地震がいつ来てもおかしくないと言われていた時期でしたので、その地震

が来たんだなと考えていました。

揺れが収まり、幸いけが人もなかったものの、展示した作品やパネルは倒れてしまいました。当時の館長が、公民館利用者を集め、まず、家のことが心配だろうから、一度自宅に戻ってくださいと指示し、帰ってもらいました。残った職員で最初に話したことが、「明日の公民館まつりは、状況によっては中止だね」ということでした。初めての経験であったし、まさかこの後とてつもない状況になるとはその時思っていませんでした。

うろ覚えですが、地震発生からおそらく40分位立った時だったと思います。

「津波が来る」と消防団から情報を得て、とりあえず2階に避難しました。大代地区公民館は一時避難所でしたが、避難されてきた方は、お母さん2人と子どもさん3人の2家族5人でした。ちょうど1家族が来たすぐ後に公民館内にも津波が入ってきたので、「すぐ2階に避難して！」と促し、残った全員が2階に避難しました。体育室にも水が入り込み、その時初めて事の重大さに気づきました。

その後は家族を指定避難所の東小学校

に職員1人が誘導し、職員だけが残りました。公民館が機能しなくなったので、私は、その後は避難所となった文化センターのお手伝いや公民館での配食作業を行いました。  
(次号へ続く)

次号以降も、震災を振り返りながら、災害とどう向き合い、どのようなことに気を付ける必要があるのかを考えていきます。

大代地区公民館では、「震災から10年画像で振り返る多賀城」と題した講座を3月10日に行います。こちらの講座へのご参加もお待ちしております。

### 大代地区公民館からのお知らせ

2月に予定されている公民館事業をお知らせいたします。

#### 文化センター × 山響

##### アウトリーチプロジェクト

東北では2つしかないプロの交響楽団のひとつである山形交響楽団の演奏を、大代地区公民館でお楽しみいただけます。

日時…2月16日 11:00～12:00  
場所…大代地区公民館 会議室  
費用…無料(要整理券)

**スクエアステップ教室**  
スクエアステップマットを使った脳トレ健康運動を行います

対象…市民 10名

日時…2月19日(金)・26日(金)

11:00～12:00

場所…大代地区公民館 会議室

費用…100円

お申込み期間…2月10日(水)

～2月18日(木)



事業の詳細に関しましては、大代地区公民館までお問い合わせください。